

Nutrition Support Times

新年第1号

新春



チェアマンのつぶやき

2010年は思えばNSTにとってはNST管理加算が開始された元年であり、とてもいい年ではありましたが、しかしこの加算を取るのはもちろん条件があつて、ナース、薬剤師、管理栄養士すべてが40時間の栄養療法に関する研修を受けている事(NST専門療法士をさしています)、そして医師は10時間の栄養に関する研修を受けている事(TNTもしくはNSTセミナー受講医師をさしています。),そして彼らのうちの一人が専従、あとは専任として登録されて、NSTカンファレンス、NST回診に出席する事となっています。

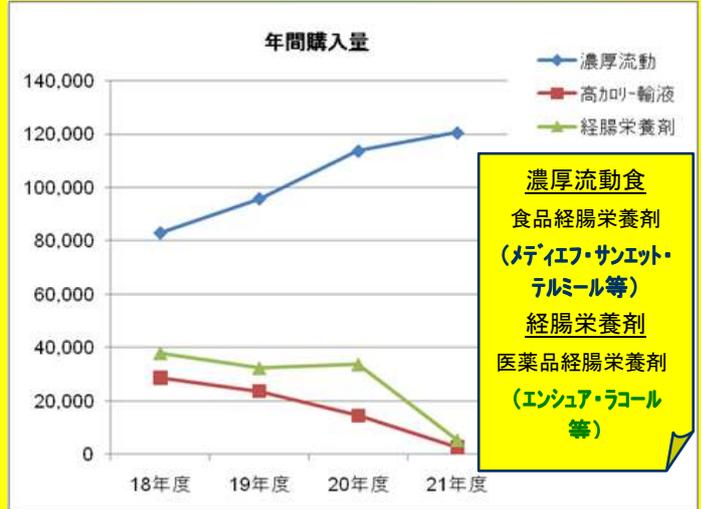
今年はICTとのコラボレーションとして、血液培養で陽性になった方々の栄養摂取状態を確認していました。しかしながら血液培養陽性の患者さんは週に多いときで20名はおられ、それぞれ全員チェックする訳にもいかず、ある程度選択して見に行きましたが介入できる患者さんは、前のアルブミンマップよりは確率的に少しだけましという程度でした。

そのため今年から再び介入法を再考しました。各病棟のナース、PT、STなどのリハビリ部門も含め、ちょっと栄養状態が怪しそうな患者さんを推薦していただく事が一番効率的ではないかと考えます。主治医の先生方には突然お伺いすることになるかもしれませんが、恐縮ですが何卒ご理解いただければと思います。無理にこちらの提案を聞いていただく必要はありませんが、我々も患者さんのために活動しています。ご一考していただければと思います。

新病院でのNSTの体制ですが、サテライトチームを増やしていく必要があります。各病棟のチームでしたら、患者さんの把握も早く、必要時に集まります。短時間でも可能です。そして当院には非常に多くのNST医師が居ます。そう、TNT講習会もしくはNST医師セミナーを受けた先生方の事です。先生方のご協力が必要で、何卒よろしくお願いいたします。また各病棟ナース、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、それぞれのご協力なくしては前に進みませんので何卒よろしくお願いいたします。

そしてみんなでNST専門療法士を取りましょう。2010年も合格者が出ました。この資格は静脈経腸栄養学会が認めるものですので、どこの病院でも資格者が足りなくて困っています。ぜひみんなで勉強しましょう。NSTはスタッフ

勉強会を第3水曜日に行なっています。NCM講演会の詳しい日程などは下記のとおりです。セミナーなども出来るだけ早く情報を流したいと思っています。



またこの数年の傾向として、NST開始以降、TPNがへり、経腸栄養が増えていきます。このことに関しては有岡管理栄養士、田村薬剤師が作ったグラフをご覧ください。入院患者さんへ薬剤は、DPC病院である当院ではすべて病院からの持ち出しになります。そしてTPN製剤は一袋1100円以上タンパク製剤など考慮すると、下記のように3000円にもなります。それに対して食事として、食品の栄養剤を出すと、一日2140円の食事代が得られます。また、経腸栄養を行なう事による抗炎症作用、同じカロリー投与での血糖値上昇の低さ、感染性合併症低下などを考えますと、可能な限り経腸栄養をしてあげてください。病院のためでもあり、患者さんのためでもあります。合併症もTPNの方が多いです。是非ご考慮ください。そして施行時に気になることがあれば遠慮なくNST(有岡 director *811, もしくは東別府*133)までご連絡ください。

NCM 講演会予定

月日	内容	担当
H23/1/27	肝障害と栄養	松本先生
3/18	栄養とリハビリテーション	横浜市立大学センター病院 若林先生
3/24	腎障害と栄養	居神先生

NSTカンファレンス・回診

毎週水曜日 pm1:00~ 8北(861)NSTカンファレンスルーム

	1本当たり単価(円)	よくある処方
フルカリック1号	1178	①フルカリック3号1本、アミパレン1本、 イントラリピッド20%100mL2本 マルタミン1本 エレメンミック1本 合計 3177円/日 病院持ち出し
フルカリック2号	1250	
フルカリック3号	1413	
イントラリピッド20%100ml	505	②ラコール 1600ml(1600kcal)0.91円/ml 1456円/日 病院持ち出し
アミパレン	278	
マルタミン	215	③メディアフ 1600ml(1600kcal) 1200円(食事代として2140円得られます)
エレメンミック	261	

今年もより良い栄養管理ができるようにさらに努力していきたいと思っております。何卒お力添えのほど、お願いいたします。
東別府直紀 拝